辺戸上原ため池ハザードマップ

このハザードマップは、地震や大雨によってため池が決壊した場合に備え、安全に避難するために役立つ情報を分かりやすく住民のみなさんに提供することを目的に作成したものです。日頃からため池災害に備えハザードマップ記載内容を確認し、いち早い避難行動や災害応急対応ができるよう心がけましょう！！

ため池諸元

名　称	辺戸上原ため池
堤　高	17.6m
提頂長	78.8m
総貯水量	482,000m3
貯水面積	8.25ha
施設管理者	国頭村

地図の見方

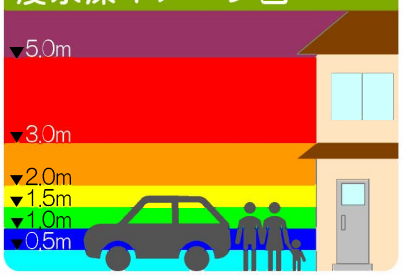
浸水の深さ

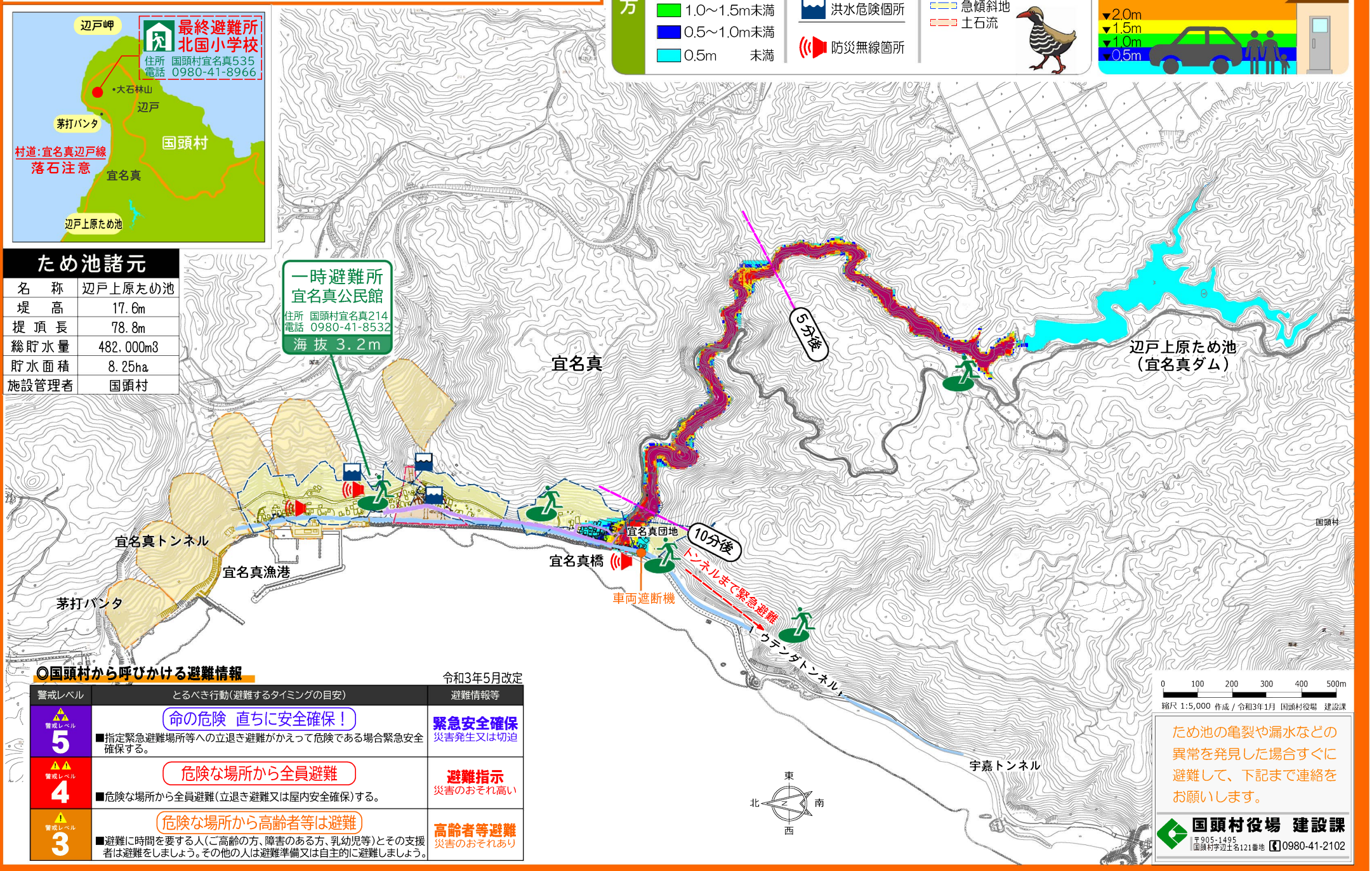
5.0m	以上
3.0～5.0m	未満
2.0～3.0m	未満
1.5～2.0m	未満
1.0～1.5m	未満
0.5～1.0m	未満
0.5m	未満

凡例

- 指定避難場所
- 緊急避難場所
- 洪水危険個所
- 防災無線箇所
- 洪水到達時間（ため池が決壊してから○○分後の浸水ライン）
- 避難経路
- 国道58号
- 地すべり危険区域
- 急傾斜地
- 土石流

浸水深イメージ図





◎国頭村から呼びかける避難情報

令和3年5月改定

警戒レベル	とるべき行動（避難するタイミングの目安）	避難情報等
警戒レベル5	命の危険　直ちに安全確保！ ■指定緊急避難場所等への立退き避難がかえって危険である場合緊急安全確保する。	緊急安全確保 災害発生又は切迫
警戒レベル4	危険な場所から全員避難 ■危険な場所から全員避難（立退き避難又は屋内安全確保）する。	避難指示 災害のおそれ高い
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難 ■避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は避難準備又は自主的に避難しましょう。	高齢者等避難 災害のおそれあり

ハザードマップの活用方法

ため池が決壊した場合に迅速かつ安全に避難するために日頃から備えておきましょう！！

1 想定される浸水範囲や深さなどをチェックしましょう！
- この ハザードマップ で ご自宅の場所、ため池の場所を確認！
- ため池決壊による浸水範囲、浸水の深さ、到達時間など を確認！

2 避難場所を確認しておきましょう！
- ため池決壊時の指定避難場所、緊急一時避難場所を確認！
- 避難時間がなかったり避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所も探しておきましょう！

3 避難場所までの避難経路を確認しましょう！
- この ハザードマップ で 避難経路、避難時の危険箇所を確認！
- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう！

4 防災情報の入手先を確認しておきましょう！
- この ハザードマップ で 『防災気象情報』の収集先を確認！
- 携帯電話などに事前登録しておけば外出先でもスムーズに情報を確認できます！

◎国頭村の公表している『防災マップ』も活用しましょう！！

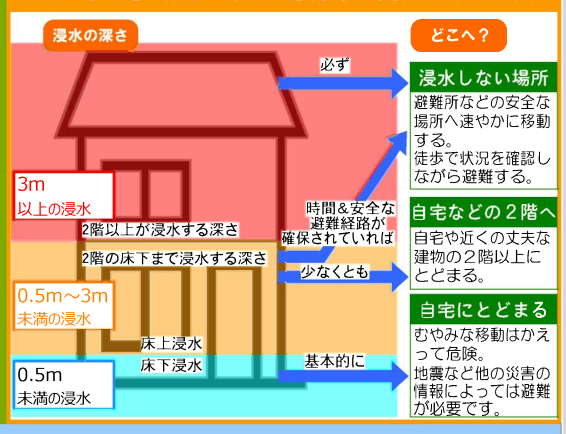
国頭村では様々な災害時の避難に役立つよう、『防災マップ』を作成しております。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう！

防災気象情報の収集先

情報の種類	名　称	WEBアドレス
沖縄県内で発令中の警報・注意報・避難情報など	沖縄防災情報ポータル ハイサイ！防災で～びる	www.bousai.okinawa.jp
国頭村内の気象情報や地震情報など	気象庁（沖縄気象台発表）	https://www.jma-net.go.jp/okinawa/

避難行動の目安

想定される浸水の深さによって、避難行動は異なります。浸水深や他の災害の情報から現状を的確に認識し避難行動を行いましょう。



※緊急連絡網※

辺戸上原ため池において緊急に対応を要する事態が発生

- 【施設管理者】国頭村役場 建設課 0980-41-2102
  - ため池状況 通報・報告 → 【県（出先）】北部農林水産振興センター 農業水産整備課 0980-52-3383
  - 連絡・指示
  - 【県（本庁）】農地農村整備課 098-866-2285
- 【村役場防災部局】国頭村役場 総務課 0980-41-2101
  - 避難勧告・指示等（防災無線など）
  - 連絡 電話 声かけ
  - 国頭地区行政事務組合 消防本部 0980-41-5100
  - 名護警察署 0980-52-0110
  - 災害応急対策 建設業者会
  - 奥駐在所 0980-41-8153
  - 声かけ・誘導など
- 【地元・地域住民】
- 【避難所】宜名真公民館 国頭村宜名真214 0980-41-8532
- けが人・事故等の発生
- 火事・救急（消防） 119
- 事故・事件（警察） 110
- 県立北部病院 0980-52-2719
- 国頭診療所 0980-41-5380

避難時の心得

がけ地や河川・水路沿い、ため池の正面は危険なので、できるだけ避けて避難しましょう。	水深がヒザまである場合は無理をせず自宅の２階や高台などへ避難して救助を待ちましょう。	お年寄りや子供などは避難に時間がかかります。協力して早めの避難を心がけましょう。
単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合って家族やグループで決められた場所に避難しましょう。	非常持ち出し品は両手が自由に使えるようリュックサックにまとめ、持ちやすいように用意しておきましょう。	避難先では落ち着いて行動し、身の安全の確保に努め、勝手な判断で場所を離れないようにしましょう。

日頃からの心得

災害時に協力し合えるよう日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。

気象情報に注意しましょう。

テレビ・ラジオや地域の防災無線などから伝えられる気象情報には普段から耳を傾ける習慣をつけておきましょう。

普段から災害時要援護者に気配りをしておきましょう。

自分の家族や住まいだけでなく地域全体にも目を向けましょう。

特に一人暮らしの高齢者には気配りが必要です。

避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

災害時要援護者　高齢者・障がい者・病弱者・妊婦・乳幼児・外国人など

家のまわりを点検しましょう。

排水溝などがゴミで詰まっていないか点検しておきましょう。また、浸水時に流されそうなものは室内に取り込むか固定するなどの対策が必要です。浸水すると困るものは高い位置などに置いておきましょう。

わが家の防災メモ

日頃から、災害が発生した時の避難場所などを話し合っておきましょう！

わが家の避難場所		家族の集合場所		非常持出チェックリスト
家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー 薬など	携帯電話 会社・学校の連絡先	☐
					☐
					☐
					☐
					☐
					☐
					☐